

## 円ブリオ基金は優しい思いの積み重ね

基金箱の設置いつも、優しい笑顔で迎えて下さる彩加美容室さん。円ブリオ基金箱とのご縁は、会員の澄田さんのご紹介です。1円玉は、お腹の赤ちゃんの重さと同じ、小さな命を大切にしたい願いを聴いて下さり、受付に置いていただいています。半年ごとに、たまりました〜と、連絡があり、伺うと、いつもどっしり重いエンブリオ基金が待っています。お客様は「よいことをしていますね〜」と仰ってくださいたり、「おつりは全部、基金箱に入れてください」と仰ってくださいる方もおられるそうです。それは、ご自身に、生まれていたはずのご兄弟がいらしたとか。戦後の大変な中、あきらめざるを得なかった命があったそうなのです。円ブリオ基金に託される様々な思いがあるのですね。

また、最近の赤ちゃんが亡くなる事件にも、心を痛めるこの頃、赤ちゃんや、お母さんを救える情報が広く伝わるといいですね、と話されました。お客様たちと、小さな赤ちゃんの命に優しい思いを積み重ねていただき、赤ちゃんとお母さんの悲しみを少しでもなくせるように、今日も基金箱が受付で待っています。(高橋記)

